

平成 24 年度「特別支援教育総合推進事業（早期からの教育相談・支援体制構築事業）」
報告書

団体名（受託自治体名）	福岡県
推進地域概要	推進地域名：嘉麻市（人口：40,747人） 大刀洗町（人口：15,189人） 保育所数：18（公立5・私立13） 幼稚園数：4（私立4） 小学校数：16（公立16） 特別支援学校数（幼稚部）：0 （小学部）：1（公立1）

I 概要

1 事業の概要

1. 福岡県における事業概要

(1) 地域における早期からの教育相談・支援体制の構築

- ① 早期支援・相談体制の構築に係る協議会の設置
- ② 県就学指導研究協議会の開催
- ③ 地域就学指導研究協議会の開催
- ④ 就学前の幼児を対象とした教育相談会の開催
- ⑤ 小・中学校校長研修の実施

(2) 一貫した継続性のある支援体制の構築

- ① 私立を含む、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校に対する専門家による巡回相談の実施
- ② 年中児の保護者に対して、小学校等への接続の重要性についての理解・啓発を図るための5歳児のいる家庭へのリーフレットの配布
- ③ 「ふくおか就学サポートノート（引き継ぎシート）」（相談支援ファイル・円滑な学校間接続のためのシート）の配布及び活用促進

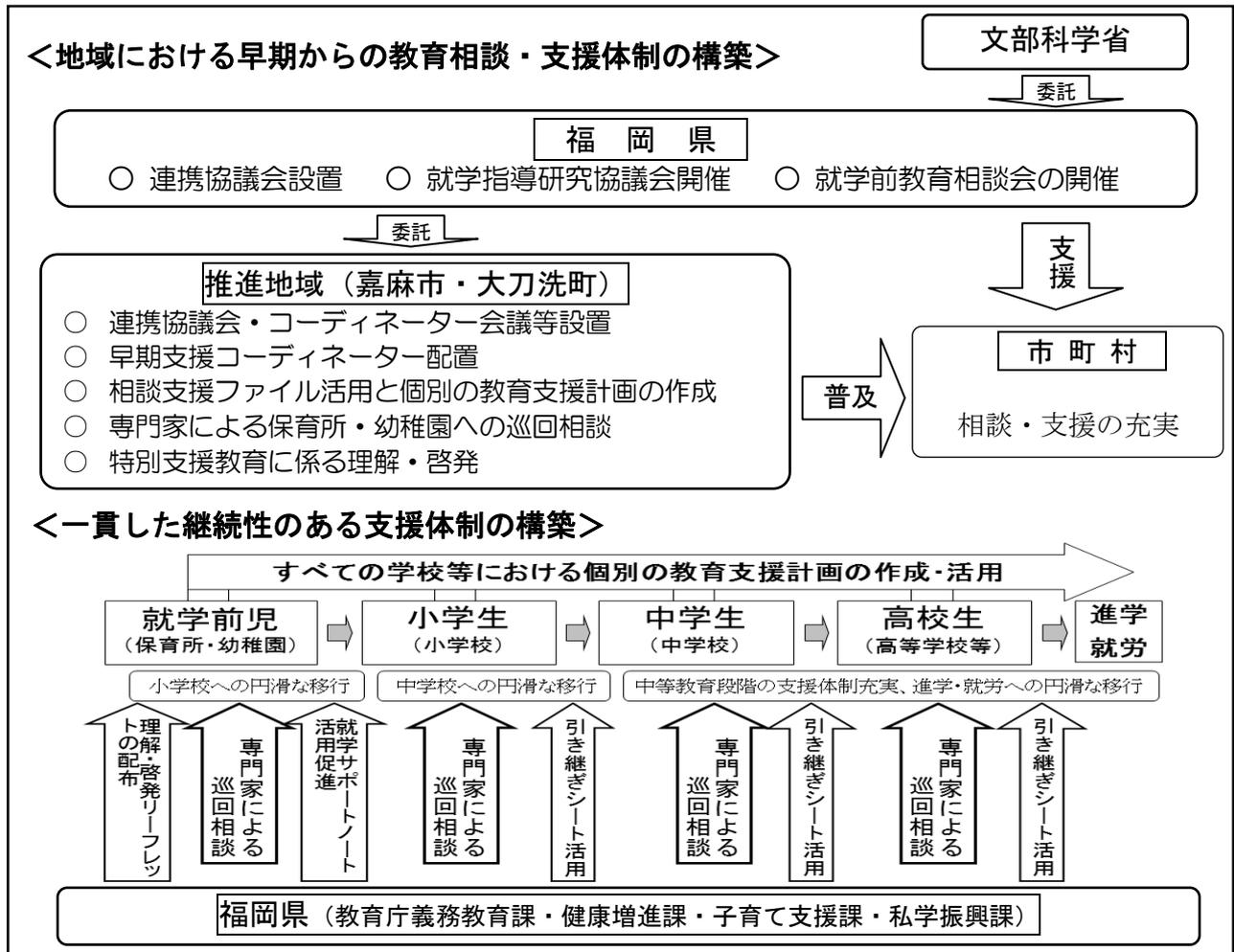
2. 推進地域（嘉麻市・大刀洗町）における事業内容

(1) 「特別支援連携協議会」の設置

- (2) 早期支援コーディネーター配置による保護者への情報提供や学校等への指導・助言
- (3) 保育所・幼稚園への巡回相談と小学校低学年へのフォローアップ相談の実施
- (4) 特別支援教育の理解・啓発に関する広報活動（パンフレット配布）や研修会の実施
- (5) 特別支援教育コーディネーター等会議の開催（嘉麻市）
- (6) 保育所、小学校、中学校、児童養護施設連絡会議の充実（大刀洗町）

- (7) 大刀洗町相談支援ファイル「もやい」等の活用促進と個別の教育支援計画の作成・活用（大刀洗町）
- (8) 就学指導委員会の組織改正による就学指導・就学相談の充実（大刀洗町）

<事業の概念図>



2 事業の成果

- ・ 県内の市町村教育委員会就学担当者や小・中学校校長に対して、インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育推進の趣旨について周知することができた。
- ・ 一貫した継続性のある支援体制の構築に向けて、「ふくおか就学サポートノート」等の活用や通常の学級における個別の教育支援計画等の作成率が向上している。また、小・中学校校長に対して、大学や高等学校における特別支援教育の取組を紹介することを通して、就学前からの一貫した継続性のある支援の重要性について、改めて理解を深めることができた。

- ・ 推進地域においては、早期支援コーディネーターの配置により継続した相談や支援が可能となったことで、本人・保護者への就学先の見学を含む情報提供等が充実し、発達相談の窓口を開設することもできた。また、保育所担当課や母子保健担当課との連携がより深まったほか、引継ぎ資料を統一することにより、スムーズな支援の継続ができるようになった。

3 事業の課題とその解決のために必要な取組

- ・ 就学先決定に係る制度改正や就学前からの一貫した継続性のある支援の重要性について、市町村教育委員会や教職員へのより一層の趣旨徹底が必要である。
- ・ 早期からの教育相談・支援体制に関する実践事例や合理的配慮に関する情報について、県内全体に発信していく必要がある。